※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０４

令和８年度　学コミュニケーション科

教科	学コミュニケーション	科目	(学)異文化交流入門	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材レポート						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語圏だけでなく、世界の様々な国の生活様式や価値観を学ぶことで自国との違いを認識し、認める力を養います。外国籍のゲストの話を聞くこと、その国の文化を体験したりする活動、留学生と交流することなどを通して体系的に異文化に対する理解を養います。
また、同じ２，３年生の学習クラスの生徒たちの異文化も認めることに重点を置きます。グループワーク、ペアワークなどを通して、どんな個性でも認め合い、誰もが安心して自分の意見を発表できる場を設けます。毎年、学年を超えて先輩後輩が仲良くなれるのが、この授業の魅力の一つでもあります。

2　学習の到達目標

知識及び技能：その国の衣食住を知り、地理、歴史、言語について知る。
思考力、判断力、表現力等：その国の文化を知り、自分の生活にどう生かせるかを表出することができる。
学びに向かう力、人間性等：その国についてレポートをまとめて相手に発表することができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	その国の地理的な知識を知る。	その国の文化を通し、何が問題点か、どうしたら解決できるか、また日本が参考にすべき点などについて意見をまとめる。	ゲストに積極的に質問したり、自分の考えを述べたりする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
半期	異文化とは？	・異文化の氷山モデルを通して、「見える文化」「見えない文化」を考える。	a:「見える文化」「見えない文化」がそれぞれ普段の生活のどんなことを指すかがわかる。 b:自分の普段の生活の見える文化と見えない文化の例を挙げる。 c:より多くの意見を出し、自分なりの感想を言える。	レポート	レポート	レポート 発言観察

※令和４年度以降入学生用

	ミステリーMeet	・英語で GoogleMeet の相手に質問しながら、相手がどこの国の出身の方か考える。	a:英語で正しい文法を用いて質問文を作れる。 b:どんな質問をしたらより正解にたどり着けるかを考えて問題を作ることができる。 c: Meet の相手に対して、英語で質問したり、会話をしたりすることができる。	レポート 発言観察	レポート 発言観察	レポート 発言観察
	ゲストティーチャー	・ゲストの講師の話を聞き、その国の文化や生活様式に触れる。	a:ゲスト講師の国の地理的知識がわかる。 b:ゲストの話を聞き、自分の意見をまとめることができる。 c:考えた自分の意見を実際質問し、より認識を深めることができる。	レポート 発言観察	レポート 発言観察	レポート 発言観察
	グローバル体験	・留学生と交流しに行く。(オールイングリッシュデイ)	a:正しい英文で相手に伝えることができる。 b:話している留学生から問われたことについて、英語で表現することができる。 c:留学生と英語で伝えようという意思をもって会話し交流することができる。	レポート 発言観察	レポート 発言観察	レポート 発言観察
	世界の年中行事	・世界の年中行事をおもしろおかしく学ぶ	a:各国の年中行事を知ることができる。 b:ヒントを見て、自分で推測し答えを考えることができる。 c:なぜその習慣が出来上がったかを知ろうとすることができる。	レポート	レポート	レポート 発言観察
	まとめ	今まで関わってきた国についてまとめる。	a:各国の地理的知識を理解することができる。 b:各国の文化背景をどう感じるか、自身の意見を考えることができる。 c:各国の習慣について自らまとめることができる。	レポート	レポート	レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度